

# おうめ 市議会だより

No. 239  
平成29年(2017年)11月15日  
発行/青梅市議会  
電話番号/0428-22-1111(代)

主な内容	
9月定例会のあらまし 提出された議案の主な内容	1
平成28年度決算の概要	2・3
一般質問	4~7
審議された議案と議決結果 陳情の審議結果・意見書 特別委員会から	8

## 平成29年 9月定例議会

## 平成28年度決算 全会計を原案どおり認定

—「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進—



青梅市し尿処理場：今回の基幹的設備改良工事により、し尿処理と併せて浄化槽汚泥の処理が可能となる。

平成29年市議会定例会9月定例議会は、9月1日から29日までの29日間の期間で開催されました。  
初日は、議案審議および陳情審議が行われ、その後一般質問に入りました。一般質問は、9月1日、4日および5日の3日間にわたって行われ、16人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(4〜7ページに要旨を掲載)。  
今定例議会に上程された市長提出議案は、平成28年度の各会計の決算7件、平成29年度の補正予算5件、条例1件、その他7件の全20件、議員提出議案は意見書1件で、いずれも原案どおり認定または可決されました(8ページを参照)。また、審議された陳情1件は、結論が得られました(8ページを参照)。

### 市長提出議案の 主な内容

■青梅市営住宅条例の一部を改正する条例(施行日平成29年11月1日)  
東京都営住宅条例の一部改正を踏まえ、子育て世帯に対する支援の拡大を図るため、入居者の資格について見直しを行うとするもの。

#### 〔改正の内容〕

入居者の資格のうち、特に居住の安定を図る必要があるものとして、収入基準を緩和する対象となる子育て世帯の範囲を「小学校就学の始期に達するまでの者がある場合」から、「18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者がある場合」に改める。

### 青梅市土地開発公社の解散について

青梅市土地開発公社を解散することについて、市議会の議決を求めるもの。

#### 〔解散の理由〕

昭和49年に設立された青梅市土地開発公社については、公共用地等の先行取得を主な業務として、これまで地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与してきた。一方、長引く景気の低迷等により、将来的にも急激な地価上昇の見込みがなく、また、新たな公有地等の取得計画もない状況を踏まえ、同公社は、所期の目的を達成し、その役割を果たしたと認められるため。

■青梅市し尿処理場基幹的設備改良工事にかかる契約の締結について  
青梅市し尿処理場において、基幹的設備の改良工事を施工するため、請負契約を締結しようとするもの。

### 議員提出議案の内容

【工事の概要】  
既存のし尿処理専用施設を改良し、併せて浄化槽汚泥処理を行う施設に整備するための設計および施工を行う。

契約金額：5億9400万円  
契約事業者：日立造船株式会社  
東京本社

### 森林環境税(仮称)の早期創設および林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書

市町村が持続的に森林整備を行うことができるよう森林環境税を早急に創設するとともに林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を強く求めるもの(8ページを参照)。

### 青梅市議会災害対応訓練を行いました

青梅市議会では大地震等大規模災害が発生した場合に迅速かつ適切な対応を図るため災害対応方針を定めています。それに伴い9月25日に台風災害が発生した想定で、参加から被害状況報告、現地視察、電話対応など、市議会議員全員で「災害対応訓練」を行いました。



参集訓練後の全員協議会で対応を協議中

### 議会日誌

10日	東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会
18日	福祉文教委員会
20日	環境建設委員会
10日	総合病院建替特別委員会
23日	議会運営委員会
28日	東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会
31日	福祉文教委員会
1日	本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、議案審議、陳情審議、一般質問)
4日	本会議(一般質問)
5日	本会議(一般質問)
7日	予算決算委員会議事会 環境建設委員会 総務企画委員会 福祉文教委員会
8日	福祉文教委員会
12日	予算決算委員会 全員協議会
14日	議会運営委員会 本会議(委員会議案審査報告)
15日	予算決算委員会
19日	福祉文教委員会 議会運営委員会
25日	本会議(委員会議案審査報告、委員会陳情審査報告、議案審議、閉議)
29日	東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会

### 9月定例議会

議会期間9月1日〜29日  
(29日間)



# 決算の概要

## 一般会計歳出決算額 491億2,754万5,584円

### 予算決算委員会 での主な質疑

議案第43号平成28年度青梅市一般会計歳入歳出決算は、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会（鴻井伸二委員長、島崎実副委員長）に付託され、9月15日、19日、20日および21日の4日間にわたり審査が行われました。審査は、担当部から決算概要の補足説明を受けた後、まず歳出について質疑に入り、続いて歳入についての質疑および総括質疑を行った後、採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。その後、本決算議案は、9月29日の定例議会最終日の本会議において、反対討論、賛成討論が行われた後、採決した結果、賛成多数で認定されました。

### 歳出

#### 議会費・総務費・消防費

幼児・児童用自転車ヘルメット購入費用助成事業について  
購入費用助成の要件を問う。また、申請と助成個数に差がある理由は何か。

市内に住所を有する13歳未満の幼児・児童の保護者に対して、SGマーク付のヘルメットを事業協力店で購入した場合に2000円まで助成するものである。申請と助成個数の差については、申請したが事業協力店以外での購入や購入を忘れた方、購入する必要がなくなった方がいたということである。

#### 声の広報の作成費用と利用者数等について

視覚障害のある方に送付している声の広報の作成経費と利用者数、利用者増への取り組みについて問う。  
答 声の広報作成経費については、マスター作成、CDへのダビングとして、110万9074円の決算額となっている。利用者は1回当たりの平均で約30人。広報やホームページ等における周知のほか、身体障害者手帳を受ける方へ配布す

#### 大雨による浸水被害への対応について

#### 保育対策等促進事業の業務効率化推進

既存の道路施設については、日常管理等に努めるとともに気象情報を早期に収集し周知するよう努めている。また、霞川の改修について東京都に強く要望している。被害の軽減については、浸水被害のあった付近の市有地を臨時駐車場として活用し、車両の被害軽減に努めるとともに引き続き土のうの貸与を行っている。

#### 民生費・衛生費・労働費

#### 元気高齢者地域活躍推進事業について

事業の目的と実施したボランティア養成講座の内容と参加者数、実際にボランティアとして活動した方の人数を問う。  
答 この事業は高齢者の健康づくりや社会貢献、生きがいづくりの創出とともに福祉施設等の従事者の負担軽減を目的としている。絵本読み聞かせの講座については、絵本の選定方法、ページのめくり方とそのスピ

#### 保育業務支援システム

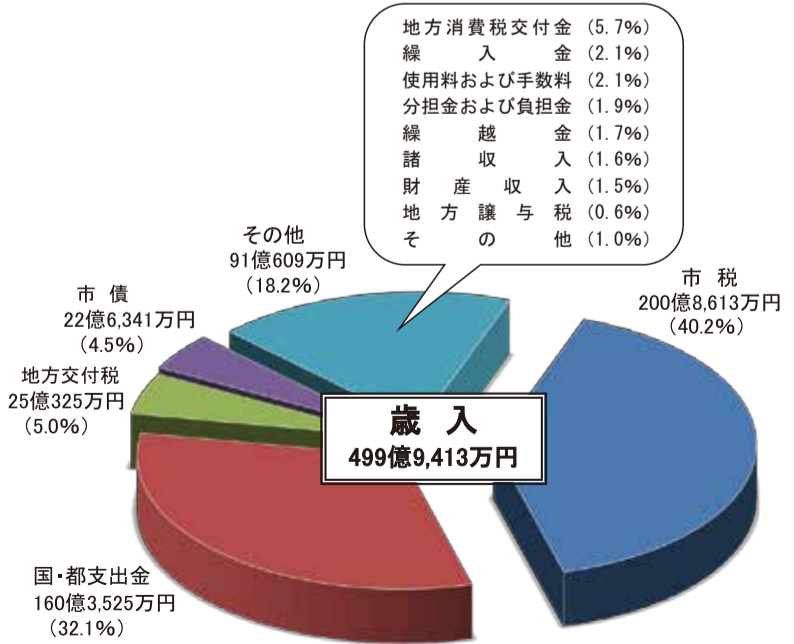
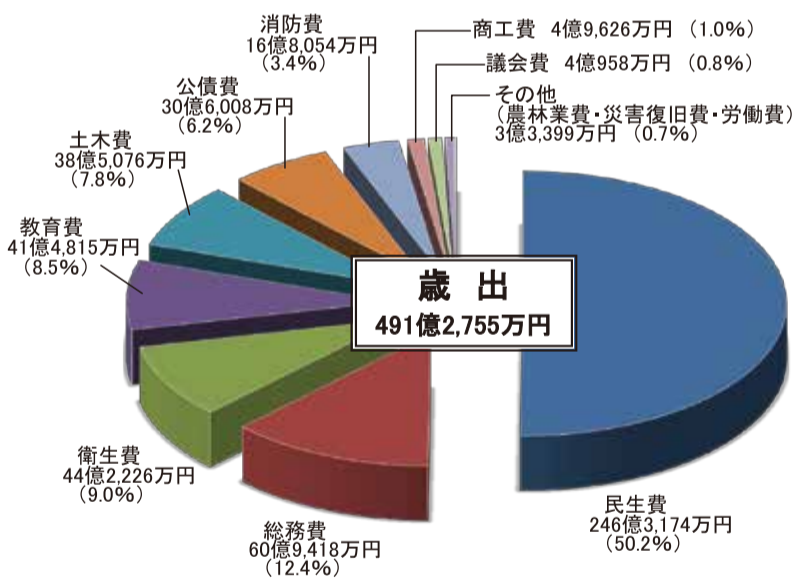
#### ごみの総資源化率

保育業務支援システムの内容と補助について問う。  
答 このシステムは、保育士の業務負担軽減を図るために、負担となっている業務について保育システムの導入を支援しICT化を推進するものである。補助については、1園あたり100万円以内とし、導入にかかる費用が100万円に満たない場合は支出した金額までとしている。

#### 女性の再就職・若年者就業アシスト事業について

#### 農林業費・商工費

この事業の内容と就職につなげた方の人数等を問う。  
答 平成27年と28年の2カ年事業であり、27年度に行ったアンケート等に基づき28年度は企業ニーズに応えたコミュニケーション、ビジネスマナーや接客サービス、履歴書等の書き方、面接対策などの研修を行った上で企業との面接会を行った。参加者は女性6人、若者12人の18人で、そのうち6人が正規採用、4人がパート等として採用された。



### ◆各会計の決算額

( ) は、27年度に対する増減率

会計区分	歳入 (千円)	増減率 (%)	歳出 (千円)	増減率 (%)
一般会計	49,994,131	(△0.9%)	49,127,546	(△1.0%)
特別会計				
国民健康保険会計	17,551,925	(△1.2%)	17,442,542	(△1.2%)
下水道事業会計	4,412,999	(△8.9%)	4,407,744	(△9.0%)
後期高齢者医療会計	2,751,859	(9.5%)	2,749,650	(9.4%)
介護保険会計	8,361,074	(5.6%)	8,262,150	(5.1%)
企業会計				
モーターボート競走事業会計	34,174,561	—	33,837,193	—
病院事業会計	15,879,431	(2.4%)	15,692,067	(2.2%)
資本的収支	265,257	(△74.7%)	1,311,032	(△33.0%)

\* モーターボート競走事業会計は、28年度から地方公営企業会計を導入したため、前年度に対する増減率は記載していない。

### ◆多摩26市平均との比較 (一般会計)

区分	歳出決算額 (A)	市税収入 (B)	市民一人当たり市税負担 (C=B/F)	市民一人当たり支出額 (D=A/F)	還元倍率 (E=D/C)	住民基本台帳人口 (F)
青梅市	49,127,546	20,086,134	148,161	362,378	2.45	135,570
26市平均	58,147,136	27,515,717	172,503	364,538	2.11	159,509



観光戦略創造プロジェクトについて

問 委託料の内容と青梅観光の新たな側面からの魅力発信についての取り組みを伺う。

答 観光戦略を策定するために、GPSによる観光動態調査や外国人モニター調査等を実施し、来訪者の基本属性やニーズ、観光実態等を分析した。また、さまざまな機関が連携して取り組みを進めるためのプロジェクト委員会の運営支援や戦略に基づく観光パンフレットの作成等を行った。魅力発信の取り組みについては、日本語と英語版の青梅市観光ガイドを作成し、都内ホテルや空港、JRの駅等に配置した。また、「おうちブルー」というキャラクターのロゴマークの作成とフェイスブックを立ち上げ、外国人向けの情報サイト、ジャパントラベルに青梅の魅力掲載するなど新たな情報発信を行った。

教育費

特色ある学校づくりの推進事業について

問 事業の予算配分方法と特に効果的だった取り組みを伺う。

答 予算配分については、各学校の計画内容に応じ、前年度の実績を参考にしながら決定している。効果的だった取り組みは、読書への意欲が高まった読書活動、ピオトープ、園芸体験等である。

総合体育館等への指定管理者制度導入について

問 総合体育館と7カ所の体育施設に指定管理者制度が導入されたが、その効果を伺う。

答 指定管理者では、総合体育館のトレーニングルーム利用者に対して定期券や回数券の販売を始め、年間で1万6000人以上の増加となった。また、各種スポーツ教室の開催にも力を入れ、子育て世代の利用者を対象に一時保育も実施するなど、民間のアイデアにより市民サービスの向上に努めている。経費については、約1100万円の削減ができた。

歳入

地方消費税

問 市では交付金が減額となった状況や背景を把握しているか伺う。

答 東京都からの交付予定に基づき予算措置をしたが、義務的経費であることから多めに見込んでいたこと、円高による輸入取引が減少し、輸入取引に課せられる貨物割が減少したためと東京都から説明があった。

総括質疑

実質単年度収支について

問 実質単年度収支が3年連続でマイナスとなっているが、今後、市はどのような観点で財政をコントロールしていくのか伺う。

答 地方消費税交付金、法人市民税の減など、市の努力だけではいかんともしい部分はあるが、歳出については組織改正等による人件費の抑制、扶助費や補助費も再度検証し、歳入については、収納率の向上や企業誘致等により市税の増収に努め、長期的に健全化の身丈に合った行政運営に努めていく。

平成28年度決算の総括

問 大変厳しい財政状況の中、市民福祉の向上のためにさまざまな課題の解決に努力してきたと思うが、28年度決算を浜中市長はどのように総括するか。また、市の財政上の課題に、今後どのように取り組むのか考えを伺う。

答 第6次青梅市総合長期計画の推進を初め人口減少と少子高齢化の抑制、地域経済の持続的発展を課題として、各施策の分野ごとに必要な対応を着実に図った。特に、最大の課題であった梅の里再生については、

一部地域であるが、梅樹の再植栽という目標を達成することができた。

この他、出産・子育て応援事業による妊産婦の支援、子育てひろばの新設、保育所および学童保育所の待機児童対策を図った。教育関連では、青梅サタデースクールを拡大し学力向上を図ったほか、防犯カメラの設置、更新による防犯対策の充実を図った。

また、青梅市中心市街地活性化基本計画が内閣総理大臣の認定を受けたほか、青梅市商・工業振興プランを策定した。

さらに、防災行政無線の難聴地区対策や、災害時における応援協定の締結など、災害対策の充実に取り組んでいる。

歳入については、コンビニ収納など市税収納率向上に取り組み、収益事業についても一定の繰り出しを確保することができた。

これらの結果、一般会計および特別会計の実質収支はいずれも黒字またはゼロの決算となった。一方で、経常収支比率が100を超えているなど、予断を許さない状況の中、何とかぎりぎりのところで決算が打てたものと考えている。

今後は、住民福祉の充実に努めながら、一訪れたい、暮らしたい、住み続けたいと思っただけの魅力のなまちを築いていく。

監査委員の審査意見(要旨)

決算審査に当たっては、極めて厳しい財政状況の中で、効率的な事務の執行や事業の効果等を着眼点とし、市民への説明責任が十分に果たされているかなどもについても審査した。地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増しているが、市政が直面する行政課題を的確に把握し、限られた財源を有効に活用し、事務の適正化、効率化に努めるよう願うものである。

実な実行による効果的な歳出削減に努めるよう要望する。

②地方公会計制度の着実な整備について  
制度の基礎となる固定資産台帳の着実な整備および維持管理を要望するとともに、新たな「統一的な基準モデル」による財務諸表の作成準備、市民に理解しやすい公会計情報を用いた行政評価の仕組みづくりを適切に進め、職員全体がこの制度の導入意義や必要性を十分把握し、制度の有効活用と定着が図られるよう要望する。

③契約の透明性の確保について  
随意契約については、従前から低減に努めるよう要望しているところである。その運用に当たっては、個々の契約ごとに履行内容や経済的合理性、緊急性などを客観的、総合的に判断し、適正執行に努めるよう要望する。また、随意契約の状況について、その推移を把握、分析の上随意契約の低減に努め、なお一層の公平・公正、透明性の確保に努めるよう要望する。

④公共施設の総合的・計画的な推進について  
厳しい財政状況や人口減少が進む中、公共施設の老朽化対策は喫緊の課題である。「青梅市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設やインフラ資産を総合的に管理・運営するよう要望する。

⑤指定管理者制度について  
指定管理者による運営については、今後も適正な運用と期待される効果が発揮されるよう、管理・監督体制の充実を図るとともに、これまでの各施設等への指定管理者導入の経緯、効果

を十分検証し、事業者の更なる導入に努められるよう要望する。平成29年1月に改定された避難勧告等に関するガイドラインを踏まえ、いざという時にしっかりととした防災体制が取れるよう要望する。特に、防災行政無線の難聴地区の解消に向け、早急に取り組みとともに、適時適切な避難行動がとれるよう、市民に対してより一層の啓発を行うよう要望する。

Table with 2 columns: Category (e.g., 総務費, 民生費) and Amount (e.g., 1,814万1千円). Title: 平成28年度に実施した主な施策

⑥職員の資質向上と働き方改革について  
職員研修については、職務に対する専門性を高め、有意義で効果的なものとなるよう、随時検討を行い、職員の資質向上に努められたい。タイムマネジメントなどの研修も取り入れ、組織全体で効率的な働き方について意識共有を図るとともに、フレックスタイム制など、より柔軟な働き方についても検討されるよう要望する。また、より優秀な人材を確保するため、採用試験のあり方についても検討されたい。

⑦地域防災力の向上について  
自主防災組織の強化を図

⑧東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組について  
2020年に向け、オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図り、人的資源も含め青梅市の魅力ある地域資源を磨き上げ、地域振興や地域経済の活性化につながるよう、補助金等も活用した多様な取組を着実に進めるよう要望する。





議員名の（ ）内の表示は、  
会派名または党派名です。  
 (自 民) …自民クラブ  
 (公 明) …公 明 党  
 (フォーラム) …改革フォーラム  
 (共 産) …日本共産党青梅市議団  
 (みどり) …みどりのオンブズマン  
 (民 進) …民 進 党

### 青梅市における平和事業の 推進について問う

島崎 実 議員 (自民)

議員 ①平成29年度は、世界連邦運動協会青梅支部と連携し、どのような平和事業を展開していくのか。  
 ②市内各地の戦没者追悼式・慰霊祭との青梅市の関わり方や若い世代の参加への対応策を問う。  
 ③被爆者・戦争体験者が少なく

市長 ①青梅市子ども・子育て支援事業計画の策定に伴い、子育て家庭へのニーズ調査を行ったが、3人乗り電動アシスト自転車に関する調査項目は設けて

### 子育て世代の経済的な負担を 軽減するため3人乗り電動 アシスト自転車貸与に向けた 取り組みについて問う

工藤 浩司 議員 (フォーラム)

議員 ①3人乗り電動アシスト自転車は、価格が10万円を超え、使用する期間が保育・幼稚園への送迎に関わる時期に限られる理由などから普及は難しいが、有料・無料の貸し出しを行っている自治体も増えてきている。子育て世代へのアンケートでニーズ調査を行ったことはあるか。  
 ②3人乗り電動アシスト自転車の貸与事業の実施に対する市長の考えを問う。

おらず、自由記述欄にも要望はなかった。  
 ②子育て世代のニーズや日頃感じている課題に対し、効果的・多角的な対策を講じ、安心して子育てができる環境づくりを進め、子育て世代に選ばれるまちを実現し、子育て世代の転出超過を打破するために限られた財源の中で各種施策の推進を進め、その実現を目指している。提案された貸与事業は、現時点においての実現は、困難であると考

### 青梅市版働き方改革と ワーク・ライフ・バランスの 取り組みについて問う

議員 ①職員のワーク・ライフ・バランスに対する取り組みをどのように評価しているのか。  
 ②時差勤務の導入によって、職員が個々の事情にあわせて働くことが可能となるため、青梅市版働き方改革につながるかと考えるが、市長の見解を問う。

市長 ①男性職員の育児休業の取得のほか、出産、介護休暇の取得者や年次有給休暇等の取得

なる中で、羽村市と共同で広島へ中学生を派遣するピースメッセンジャー事業は、極めて貴重な経験になると考えるが、事前研修も含めて少し負担が大きいと感じている。継続のためにも負担を減らす検討としては、  
 ④市として今後どのように平和事業に取り組んでいくのか。  
 市長 ①市では、青梅支部の設立以来、協力してさまざまな平和活動を推進している。29年度も写真展や平和の集いなど、連携を図りながら平和活動を展開していく。  
 ②市からも地区の慰霊祭へは必ず参列している。若い方を含め一人でも多く参加いただけるよう実施方法を工夫していく。  
 ③十分な知識を身に付けてから

状況から、職員のワーク・ライフ・バランスに対する取り組みが推進されているものと一定の評価をしている。  
 ②時差勤務は、一部部署で導入済みであり、職員の負担軽減とワーク・ライフ・バランスの実現に資すると捉えている。今後も可能な範囲で拡大を図っていく。  
 道路通報サービス「Fix My Street Japan」の3月以降の研究状況と今後の導入に向けた考えについて問う

議員 ①導入する場合の課題や問題点を問う。  
 ②プライバシー保護の考え方などを先行自治体に調査することが課題解決へとつながるのでは、  
 ③課題解決に向けた市長の考えを問う。  
 市長 ①住民のプライバシー保護が課題と考えている。

広島を訪問すること、チームワークの良い派遣団とすることが肝要であり、現在の研修内容および質の確保は必要と考えているが、今後羽村市と協議し、より効率的な研修に努める。  
 ④平和の尊さを後世にしっかりと伝えることが、今を生きる私たちの責任であるとの深い認識の下、今後も多様な平和事業に取り組む。また、さまざまな媒体を活用して広く周知していく。



### 子育て支援施策の 推進について問う

結城 守夫議員 (公明)

議員 ①乳幼児から18歳までの青少年が楽しみ学べる大型児童センターを整備してはどうか。  
 ②保育園定数は入所希望者数を上回っているが、待機児童が存在する。その理由と対策を問う。  
 ③子供会が利用する市体育施設使用料が、未だ有料である。子育て支援のため免除すべきでは  
 ④ひとり親家庭への支援施策がまとめでやさしく掲載されている小冊子を、発行してはどうか。  
 ⑤公費助成により新生児聴覚検査を促進し、適切な早期治療を

行えるようにしてはどうか。  
 市長 ①大型児童センターの整備は、総合的に検討していく。  
 ②定員需給の地域的偏在があり、定員割れ保育園等に対し定員変更を促す等の対応を図っていく。  
 ③市青少年健全育成団体に登録した子供会については免除する。  
 ④青梅市版のひとり親家庭支援の小冊子を発行し、便宜を図る。  
 ⑤早期治療のための新生児聴覚検査公費助成の導入を検討する。



②導入自治体では、個人情報映り込んだ写真は、削除したりぼかしを入れることで対応しているとのことである。  
 ③プライバシー保護等に課題があることから、引き続き先進自治体の対応方法等について情報収集に努めていく。  
 「他の質問：「幸せエピソード」募集に向けた検討状況と今後について問う」

### 用語の解説

- 注1…Fix My Street Japan (4ページ・工藤議員)  
Fix My Streetとは、英国のmysocietyが開発したアプリケーションで、道路施設の破損や不法投棄などに気づいた市民が報告し、行政はそれを見て必要に応じた対応を行う仕組みのこと。オープンガバメント(インターネットを活用し政府を国民に開かれたものにしていく取り組み)を実現するツールのひとつに位置付けられている。日本でもFix My Street JapanがWeb版、Android版、iOS版で開発されており、現在無料で誰でも使えるようになっている。
- 注2…認知症カフェ (5ページ・山内議員)  
認知症の方やその家族が、地域の身近な場所で地域住民や医療介護福祉の専門家等とともに自由に集い、交流や情報交換できる場のこと。
- 注3…森林セラピー (6ページ・藤野議員)  
森林の持つ癒し効果を科学的に解明し、こころと体の健康に生かそうという試みのこと。
- 注4…学校事務の共同実施 (6ページ・ひだ議員)  
拠点校に複数の事務職員を配置し、事務処理の効率化、正確性の向上、事務の継承を図るとともに副校長の事務負担を軽減することなどを目的として、東京都が都内23区および26市の自治体に働きかけ順次実施しようとしている取り組みのこと。
- 注5…スタッキング椅子 (6ページ・ひだ議員)  
スタッキングとは、積み重ねて収納できる構造のこと。小さなスペースに収納が可能で運搬に便利。フレームにアルミニウムなどを使った軽量なものが多い。
- 注6…デジター版 (6ページ・田中議員)  
DAISYとはDigital Accessible Information Systemの略で日本ではアクセシブルな情報システムと訳されている。視覚障がいや一般的な書籍、印刷物を読むことが困難な人のためにカセットに代わるデジタル録音図書国際標準規格として、50カ国以上の会員団体で構成するデジターコンソーシアム(本部スイス)で開発・維持が行われている情報システムのこと。

### 医療的ケア児・重症心身障がい 児の支援施策について問う

議員 ①医療的ケア児の通所施設確保計画を策定してはどうか。  
 ②医療的ケア児等が定員超過等のため障害者施設を利用できないときは、介護保険施設を利用できる制度を創設してはどうか。  
 ③医療的ケア児等の「親亡き後」の居住場所として、民間グループホーム建設のために、市有地を貸与する施策を、市は現在も維持しているのかを問う。

④医療的ケア児の保育園受け入れ促進施策を図ってはどうか。  
 ⑤青梅市立総合病院で、医療的ケア児介護者に、医療的ケア研修を実施してはどうか。  
 市長 ①「障害児福祉計画」を今年度中に策定し、医療的ケア児の通所施設の確保に努める。  
 ②年内に関係者の意向調査を行った上で、医療的ケア児等の受け入れが可能であれば、利用制度の創設を実施していきたい。  
 ③「親亡き後」の支援施策としての民間グループホーム建設等の市有地活用について、市は引き続き協力していく考えである。  
 ④現在、1名の医療的ケア児が市内保育園に入所している。公費助成を含めて支援していく。  
 病院事業管理者 ⑤当院の健康講座において、医療的ケア研修の実施を前向きに検討していく。

### 在宅高齢者福祉施策の 推進について問う

議員 霞台第二住宅団地では、ひとり暮らし高齢者等に対するボランティアの見守り活動を行っている。この「見守り隊」の成功事例をモデルケースとして、他の団地・マンションにも見守り活動を定着させる制度的取り組みを行ってはどうか。  
 市長 市は現在、地域における生活支援体制整備事業に着手している。この取り組みの中で霞台第二住宅団地等の好事例を広く市民に周知していきたい。  
 「他の質問：市奨学金制度の充実について問う」







### 青梅市東部地域の観光振興について問う

天沼 明 議員 (自民)

議員 ①青梅東部地域観光活性化計画の策定の経緯、目的、対象地域を伺う。

②旧吉野家住宅や大井戸公園など、多くの観光資源が点在している新町地域と青梅東部地域観光活性化計画の対象地域を結びつけることによって、新たな観

光ルートの創設や回遊性の向上が図られると考えるがどうか。  
③御岳山や梅の再生を積極的に進めている吉野梅郷等の西部地域の観光振興と東部地域の観光資源をつなぎ回遊性をもたせることによって、市全域を対象とした観光振興の充実が図られ、地域の活性化にもつながるものとするがどうか。

議員 ①青梅東部地域の魅力を十分に活用できていない現状に危機感を抱いた地元の間団体の方が策定し、霞川以北の地域を対象に協働して観光活性化を目指すものである。  
②青梅東部地域の観光活性化懇談会と連携して、計画にある施策を実施するとともに、地域の特性を生かし、農協直売所や農

### 青梅市営住宅での迷惑行為について問う

山内 公美子 議員 (公明)

議員 ①近年、増加傾向にあるといわれている近隣トラブルは公営住宅においても問題となっているが、迷惑行為の対応マニュアルを市では定めているのか。

②迷惑行為が発生した場合、どのような対応をしているのか。  
③今後、高齢化に伴って迷惑行為が起り得る可能性が多くなっている中で、迷惑行為について規則、要綱等で明確に定めておく必要があるのか。

市長 ①市では現在、マニュアルは定めていない。  
②迷惑行為の対応は、相談・苦情を受けた場合には、まず、職員が当事者と面会し、双方の言

い分を確認した上で迷惑行為を止めるように指導し、解決を図っている。  
③過去の対応事例を検証するとともに、都営住宅における事例等や先進自治体等の情報収集に努め、明文化も視野に入れ、対応策について検討していく。

議員 ①青梅市の認知症サポーターの目標人数を伺う。  
②認知症サポーター制度の周知拡大に向けた取り組みを伺う。  
③認知症カフェは、日常生活圏域1つに1つ以上の設置が望ましいのではないかと。  
④市のホームページでも、認知症家族の会・青梅ネットの情報を発信し、認知症の情報を必要としている多くの方に情報提供を行うべきではないかと。  
⑤徘徊高齢者対策は、どのように強化し、取り組んでいくのか。

市長 ①青梅市総合長期計画では、認知症サポーターを34年度末までに1万人にすることを目標としているが、国の新たな目標値は、32年度末までに1千2

### 中学校教育に関する保護者の視点からの評価について問う

迫田 晃樹 議員 (自民)

議員 ①青梅市立第三中学校では、保護者を対象にしたより良い学校づくりのアンケートを実施し、その結果をホームページに公表しているが、他の中学校でも行われているのか。

②市立第三中学校のアンケート結果では、保護者の約4割の方が学校の授業に不安を抱いていると回答されているが、どのように受け止めているのか。

教育長 ①アンケートは、全中学校で保護者のほかに、生徒やでいく考えであるのか。

市長 国から示されている事業内容等について、市の実情を踏まえながら青梅市医師会と引き続き連携し、取り組んでいく。

議員 ①サタデースクールの一部会場では、児童・生徒の実態に応じた指導も行うとのことであるが、その会場や内容とは具体的にどこでどのようなものか。  
②28年度の全国学力調査の平均正答率の結果において、羽村市との差が大きいのが、どのように分析し、対応していくのか。

議員 ①サタデースクールの一部会場では、児童・生徒の実態に応じた指導も行うとのことであるが、その会場や内容とは具体的にどこでどのようなものか。  
②27年12月に策定した、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、学力向上事業を軸とした教育環境の充実により、

教育長 ①霞共益会館会場では、指導者が作成した難易度の高い結果を踏まえ、買い物弱者への支援をどのように実施していくのか。

④アンケートには、できれば自分で見て触って買いたい旨の意見が多くあったが、これに応えられる方法はないか。また、実施の際には、分かりやすい周知が必要ではないかと。

市長 ①今後、公共交通協議会の場を活用してバス事業者と連携した取り組みを協議するなど、バスを身近な公共交通として利用できるよう努めていく。  
②バス利用者から要望が多いバス停へのベンチや屋根の設置はその都度、バス事業者に要請し、可能な所から順次設置を進めてきた。引き続きバス事業者と連携し、施設の充実を努めていく。

議員 ①免許返納者や利用に慣れていない方へのバス利用について、どのように行うのか。  
②バス停のベンチや屋根の設置など環境整備を行うべきではないかと。  
③青梅市商・工業振興プラン策定に際し、実施したアンケート

子育て世代の転出抑制と市外からの転入促進を図るとともに、市外からの転入促進を図るために例えば、勉強に意欲のある生徒を集めた特別な学校、クラスを新設するぐらいの思い切った施策を考え、他市との差別化を図るべきではないかと。  
教育長 ①各校区では、進路の考え方や受験への心構えなどを生徒に指導するとともに、保護者に対する進路説明会等を開いている。この指導の中では、単に学力だけで受験校を選択するのではなく、本人の適性や進学後の将来も考えるよう伝えている。

議員 ①受験指導をどのように捉え、指導しているのか。  
②27年12月に策定した、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、学力向上事業を軸とした教育環境の充実により、

議員 ①青梅市公式キャラクター「ゆめうめちゃん」の活用方法を伺う。  
②ゆめうめちゃん入りの市オリジナル結婚記念証と誕生記念証を無料で交付してはどうか。

議員 ①青梅市公式キャラクター「ゆめうめちゃん」の活用方法を伺う。  
②ゆめうめちゃん入りの市オリジナル結婚記念証と誕生記念証を無料で交付してはどうか。

議員 ①青梅市公式キャラクター「ゆめうめちゃん」の活用方法を伺う。  
②ゆめうめちゃん入りの市オリジナル結婚記念証と誕生記念証を無料で交付してはどうか。





### 青梅市における特別天然記念物カモシカの被害対策について問う

山田 敏夫 議員 (自民)

議員 ①カモシカは、一般的に1平方キロメートル当たり、どれくらいの頭数があるのか。  
 ②猟友会の話では、成木地区でカモシカが多数生息しているとのことだが、市内には何頭くらい生息していると思われるか。  
 ③他の府県でカモシカの捕獲が許可されている所はあるか。  
 ④市として国や都に、カモシカの捕獲を許可してもらえないか。  
 ⑤環境省の特定鳥獣保護管理計画作成のためのガイド

ラインによると、一般的な生息頭数は、1平方キロメートル当たり2頭から3頭程度とされている。  
 ②自然環境の専門家の方などから見解によると、青梅市、奥多摩町、あきる野市、日の出町および檜原村の区域における生息頭数は、推定200頭から300頭とのことである。  
 ③文化庁の特別天然記念物カモシカとその保護地域の管理についてによると、カモシカの捕獲が許可されている県は、岩手、山形、群馬、長野、岐阜、静岡、愛知県の7県である。  
 ④カモシカの捕獲は、長野県など北アルプス等の山間地域で許可されているが、関東山地に含まれている東京都などでは許可されていない。カモシカの対応については、東京都教育委員会や東京都環境局等と相談・協議を行っているが、今後も継続して関係機関と連携を図りながら対応していく。

### 森林対策について問う —広葉樹をふやす取り組みなど—

みねざき 拓実 議員 (共産)

議員 ①広葉樹を増やしていく取り組みは、公益的機能の観点から市が主体的に進めていく必要があると考えるがどうか。  
 ②青梅丘陵ハイキングコース沿いの広葉樹化を進めるべきではないか。  
 ③四季折々の景色を楽しまれるように、御岳山の広葉樹化を進めてはどうか。  
 ④都のホームページでは、多摩の森林再生事業による間伐の後、広葉樹を植栽することは問題がないとされている。市として広葉樹の苗木を植える事業を追加

取り組みは、公益的機能の観点から市が主体的に進めていく必要があると考えるがどうか。  
 ②青梅丘陵ハイキングコース沿いの広葉樹化を進めるべきではないか。  
 ③四季折々の景色を楽しまれるように、御岳山の広葉樹化を進めてはどうか。  
 ④都のホームページでは、多摩の森林再生事業による間伐の後、広葉樹を植栽することは問題がないとされている。市として広葉樹の苗木を植える事業を追加

してはどうか。  
 市長 ①市では、平成13年度から25年度まで造林事業補助金により広葉樹林化等を実施した。26年度以降は、都に同様の補助制度があるため、希望される方には都の制度を案内している。  
 ②都と協力しながら山林所有者へ働きかけていく。  
 ③都農林水産振興財団および都と協力しながら、山林所有者へ働きかけていく。  
 ④多摩の森林再生事業等の取り組みを着実に推進することで広葉樹を増やし、バランスのとれた針広混交林化を図ることができると考えている。引き続き都および都農林水産振興財団と協力し、山林所有者へ積極的な働きかけを行っていく。

②待機児の多い地域や余裕教室の定員が50人の地域には、大門こどもクラブのような独立した施設を国や都の補助金を利用して建設する必要があるのでは。  
 ③サマー学童の実施場所を増やして待機児を減らすことについて、どのように考えているのか。  
 市長 ①開設前は、新しい環境に対する不安の声もあったが、開設して5カ月を経過した現在不安の声はなく、利用者からは大門こどもクラブを気に入っているという声も寄せられている。  
 ②学童保育所待機児童解消プランに基づき、引き続き学校施設の利用の検討を優先していく。  
 ③今後も待機児童の状況や交通の利便性などを考慮して決定していく。

### 青梅の森の整備について問う

藤野 ひろえ 議員 (共産)

議員 ①青梅の森事業計画書の概要、事業費、これまでの進捗状況を伺う。  
 ②青梅の森運営協議会での議論の状況を伺う。  
 ③看板やトイレの整備が必要だと考えるがどうか。  
 ④森林セラピーやガイドボランティアなどの積極的な利用が必要だと考えるがどうか。  
 市長 ①計画書では、保全・整備・運営の3つの基本方針の下、16のプラン39の取り組みを掲げており、28年度までの事業費は、用地購入費を除き4億5千万円

概要、事業費、これまでの進捗状況を伺う。  
 ②青梅の森運営協議会での議論の状況を伺う。  
 ③看板やトイレの整備が必要だと考えるがどうか。  
 ④森林セラピーやガイドボランティアなどの積極的な利用が必要だと考えるがどうか。  
 市長 ①計画書では、保全・整備・運営の3つの基本方針の下、16のプラン39の取り組みを掲げており、28年度までの事業費は、用地購入費を除き4億5千万円

余であり、現在までに29項目の取り組みを進めている。  
 ②市が実施する保全・整備事業や協働する活動団体等を行う活動計画、事業計画の進め方などについて意見をいただいている。  
 ③看板については、外国語表記を含めた道標を設置しているほか、区域内で保全活動をする団体の紹介等を活動区域周辺に掲示している。トイレについては、事業計画に基づき、北谷津への整備を予定している。  
 ④青梅の森では、森林セラピーを森林療法として既に実施している。ガイドボランティアについては考えていない。

③18歳以下が2人以上いる世帯は、均等割の免除など、市独自の減免制度が必要では。  
 市長 ①一般会計からの財源補填繰入金を抑制することが制度の安定化を図る上で大前提と考えており、保険税の値上げを抑制するために繰入金を増やす考えはない。  
 ②国に対しては、国庫負担割合の引き上げ等について、都に対しては、財政責任の主体として保険税が急激に上昇しないよう独自の財政支援について、それぞれ市長会を通じて行っている。  
 ③国民健康保険は、社会保障制度として国の制度設計に基づき運営されるべきものと考えており、独自の軽減対策を実施する考えはない。

### 山梨市の不正事件に学び、青梅市の職員採用試験の透明性の確保を

ひだ 紀子 議員 (みどり)

議員 ①青梅市の職員採用試験で受験者の氏名入りのデータを見せている理由は何か。  
 ②面接試験を複数回重ねることが普通になりつつある。二段階、三段階の面接を行い、多くの職員の名を通じて採用する人を決めていく方法へ変えていくべきではないか。  
 ③採用試験を有利にしたいとい

う意図を持った連絡はあるのか。そういう働きかけは記録して口利き防止をするべきではないか。  
 ④人材を集めるためには、透明性の高い採用試験が必要ではないか。市長の関わる裁量をなくしていくべきでは。  
 市長 ①受験者の取り違えなどの間違いは許されないので、試験の申込みから採用まで一連の事務処理上、必要があるものと判断している。また、市長として青梅市の将来を担う職員の採用に関することは、当然のことであると考えている。  
 ②28年度決算審査における監査委員からの意見書の中にも、より効果的な職員採用試験となるよう見直しの要望があるので、実施方法等を検討していく。  
 ③受験をした旨の連絡を聞くことはあるが、一切考慮しないとはお引き取りを願っている。

副市長 ④一次試験の合格者等を決定する際、成績表の氏名を黒塗りにするなど検討していく。  
 教員が子ども達に向き合えるゆとりを「学校事務職員がもっと学校運営に参画できる体制作り」  
 議員 ①学校事務の共同実施が教員の負担を軽くするとは思えない。専門性のある事務職員が学校現場でより学校経営・運営に参画していくべきでは。  
 ②教職員と学校事務職員が相互に事務をチェックできる形を模索してみたい。  
 教育長 ①学校事務の共同実施を検討する前に、各学校で行われている事務を洗い出し、学校事務の実態を把握した上で事務の標準化やマニュアル化を図り、検討することとしている。  
 ②相互理解を深め、両者が一体となった学校経営の取り組みを

行うよう取り組んでいく。  
 新生涯学習施設(仮称)の基本設計について問う  
 議員 ①多目的ホールは、平場にスタッキング椅子を並べるといいますが、これではステージが非常に見えにくい。また、ステージは狭すぎ危険でもある。座席をひな壇にし、ステージを広くとれるように見直してはどうか。  
 ②トイレの数があまりに少なすぎるため、休憩時には混雑が予想される。特に女性用トイレを増やすべきではないか。  
 教育長 ①基本設計では席数を最大限確保する考えであったが、パブリックコメントでも見やすい形を要望する声が多いので、可動式ひな壇を検討している。  
 ②パブリックコメントでも要望があったため、実施設計の中で可能な限り増設に努めたい。

### 視覚障がい者支援の充実を

田中 瑞穂 議員 (共産)

議員 ①同行援護制度の周知を徹底し、利用時間を拡大するべきではないか。  
 ②タクシー券の支給を行うべきと考えるがどうか。  
 ③ガイドヘルパーになる方法の積極的な周知が必要では。  
 ④障がい者のしおりは、点字版やデジタイズ版を作成しては。  
 ⑤市内西部に音響式信号機を増

設するべきと考えるがどうか。  
 市長 ①時間数の制限は設けていない。利用者からの相談に応じて、個々の事情を勘案しながら月当たりの支給時間の見直しにも柔軟に対応している。周知については、身体障がい者の手帳等交付時に障がい福祉のサービス利用の案内、音声コード付き障がい者のしおりの交付のほか、広報・ホームページにより行っているが、引き続き丁寧な周知に努めていく。  
 ②平成18年に実施した行政改革の中でタクシー券・ガソリン券の支給を廃止した経緯があり、厳しい財政状況の中にあつて今後も支給する予定はない。  
 ③都から、ガイドヘルパーになるための同行援護従事者養成講座の情報提供があった場合には、関係事業所に周知している。

### 民泊新法への見解と治安・住環境について問う

議員 ①市では、民泊についてどのように把握しているのか。

議員 ①市では、民泊についてどのように把握しているのか。  
 ②住宅宿泊事業法に対する市長の見解を伺う。  
 ③治安や住環境を悪化させない取り組みが必要ではないか。  
 市長 ①住宅宿泊事業法は、本年6月に公布され、まだ施行されていない状況である。現在は旅館業法に基づいて許可を受けている市内の宿泊施設は把握しているが、その他については把握していない。  
 ②今後、法が施行され住宅宿泊事業が法に従って適切に運用されることで国内外からの観光客

議員 市は速やかに地域猫活動に踏み出すべきであると考えるが、市長の見解を伺う。  
 市長 地域猫制度は、地域の住民等が主体となり、行政が協力支援を行う中で不妊去勢手術を行い、適切な餌やりなどを行うことにより、飼い主のいない猫を減らしていく取り組みであり、飼い主のいない猫対策の方策の一つとして、その必要性は認識している。こうしたことから現在、地域猫制度の創設に向けて検討を進めている。  
 【他の質問：国民健康保険等被保険者証の性別表記改善を「性的マイノリティの苦痛を取り除くために】





### 梅ヶ谷トンネル(仮称)について問う

鴨居 孝泰 議員(自民)

議員 ①梅ヶ谷トンネル(仮称)の今後のスケジュールを伺う。  
②住民の方への安全対策は、どのようになっているのか。  
③トンネルが開通した際、現在、武蔵五日市駅とつるつる温泉の間を運航している機関車バスを日向和田駅や青梅駅まで運行してもらえば、観光の振興が図られ、日の出町と連携した取り組みも可能になると考える。運行に向けて日の出町と協議を進めてみてはどうか。

市長 ①工事を実施する東京都西多摩建設事務所では現在、設

計および積算が進められており、29年度内にトンネル本体工事の請負契約を締結し、34年度のトンネル開通を目指して工事が進められる予定とのこと。  
②東京都西多摩建設事務所では、トンネル工事の実施により掘削された土砂等は、大型車両を使用し、青梅市側坑口より搬出する計画であるとのこと。これに伴い、現場出入り口や梅ヶ谷峠入口交差点等には、必要に応じて交通整理員を配置するなど歩行者や通行車両の安全確保に努めていくとのこと。  
③広域的な観光振興の面からも、日の出町と情報共有を図るとともに、効果や課題について意見



機関車型のトレーラーバス「青春号」は、親子連れが写真撮影を行い、玩具メーカーからミニカーも発売されているなど人気の車両

### 教員の労働環境について問う

片谷 洋夫 議員(民進)

議員 ①教員の長時間労働が社会的問題となっているが、小中学校の教員の労働時間はどのように把握し管理しているのか。  
②タイムカード、またはそれに類するものを導入しては。  
③教員が精神疾患にならない方策などに取り組んでいるのか。  
④精神疾患の教員には今後、どのような対策をしていくのか。

教育長 ①出勤は、出勤簿への押印で確認し、退勤は本人の申告および管理職の目視となっている。勤務時間の把握については、正規の勤務時間である7時間45分間の把握はできているが、それを超える時間については把握していない。

②今後、国や都の動向を注視するとともに、都の市区町村の状況なども勘案し、タイムレコーダー等の導入による勤務時間の把握について対応していく。  
③未然防止策として、長時間勤務が続く教員や多くの業務を抱えている教員に対し、管理職が教員一人一人の状況をよく観察する中で積極的な声かけによる状況把握や授業等に関する相談、不安や悩みに関する相談などを行っている。今後とも、各学校と協議する中で教員の健康管理

に努めていく。  
④国や都の働き方改革を推進する中で各学校に対して、働き方や仕事分担の見直し、仕事の効率化の促進など教員の業務負担の軽減を図るよう指導していく。

### 公園の活性化について問う

市営公園法改正を契機に

議員 ①都市公園法が改正され、公園を民間活用により活性化できるようなったが、現時点でどのような取り組みを考えているのか。  
②民間事業者の力を利用した公園の活性化などをどのように進めていくのか。

市長 ①現段階では具体的な検討に至っていないが、民間活力を生かした公園の活性化に当たっては、事例研究などを通じてストック効果をより高める、民間

交換等を行い、運行の可能性を探っていく。  
議員 ①市営プールの入場者が増える工夫として、東原公園水泳場で年に数回、ナイトプールを実施してはどうか。  
②東原公園球技場のナイター設備を間接照明としてナイトプールに活用できないのか。  
市長 ①東原公園水泳場には夜間照明がないため、安全面や監視面で課題が残る。入場者の増加には寄与すると考えられるが、課題の整理と費用対効果の検証が必要であると考える。  
②指定管理者からは、ある程度の照度は得られるが、水中まで監視の目が届くほどの照度には至らず補助照明の設置が必要との意見であった。また、住宅地と隣接しているため、場内アナウンスや利用者の歓声等、音の対策も必要である。これらのことから実施は難しいと考えているが、今後の研究課題としたい。

### 青梅の市営プールについて問う

議員 ①市営プールの入場者が増える工夫として、東原公園水泳場で年に数回、ナイトプールを実施してはどうか。  
②東原公園球技場のナイター設備を間接照明としてナイトプールに活用できないのか。

市長 ①東原公園水泳場には夜間照明がないため、安全面や監視面で課題が残る。入場者の増加には寄与すると考えられるが、課題の整理と費用対効果の検証が必要であると考える。  
②指定管理者からは、ある程度の照度は得られるが、水中まで監視の目が届くほどの照度には至らず補助照明の設置が必要との意見であった。また、住宅地と隣接しているため、場内アナウンスや利用者の歓声等、音の対策も必要である。これらのことから実施は難しいと考えているが、今後の研究課題としたい。

### 職員研修について問う

大勢待 利明 議員(フォーラム)

議員 ①職員が他市の事例を調査し、現地に足を運び、視察を行うという研修はあるのか。  
②国内研修に市長の意思をどのように取り入れているのか。  
③国内研修にかかる予算を増やすべきでは。

市長 ①先進自治体の取り組みや施策等について、視察を行うことで職員の資質向上および見識を広めることを目的とした国内研修を実施している。  
②施政方針に掲げる観光や農業振興などの重点事業のほか、新年度に取り組む施策など市が目

間との連携を加速する、都市公園を一層柔軟に使いこなすなどの観点を重視し、検討していきたいと考えている。  
②今後、必要となる公園条例の改正や周辺住民との調整など課題をよく整理し、協議会の立ち上げを含め、民間活力を導入した公園の活性化に向けて検討を進めていく。

議員 ①職員が他市の事例を調査し、現地に足を運び、視察を行うという研修はあるのか。  
②国内研修に市長の意思をどのように取り入れているのか。  
③国内研修にかかる予算を増やすべきでは。

市長 ①先進自治体の取り組みや施策等について、視察を行うことで職員の資質向上および見識を広めることを目的とした国内研修を実施している。  
②施政方針に掲げる観光や農業振興などの重点事業のほか、新年度に取り組む施策など市が目

間との連携を加速する、都市公園を一層柔軟に使いこなすなどの観点を重視し、検討していきたいと考えている。  
②今後、必要となる公園条例の改正や周辺住民との調整など課題をよく整理し、協議会の立ち上げを含め、民間活力を導入した公園の活性化に向けて検討を進めていく。

議員 ①職員が他市の事例を調査し、現地に足を運び、視察を行うという研修はあるのか。  
②国内研修に市長の意思をどのように取り入れているのか。  
③国内研修にかかる予算を増やすべきでは。

市長 ①先進自治体の取り組みや施策等について、視察を行うことで職員の資質向上および見識を広めることを目的とした国内研修を実施している。  
②施政方針に掲げる観光や農業振興などの重点事業のほか、新年度に取り組む施策など市が目

間との連携を加速する、都市公園を一層柔軟に使いこなすなどの観点を重視し、検討していきたいと考えている。  
②今後、必要となる公園条例の改正や周辺住民との調整など課題をよく整理し、協議会の立ち上げを含め、民間活力を導入した公園の活性化に向けて検討を進めていく。

議員 ①職員が他市の事例を調査し、現地に足を運び、視察を行うという研修はあるのか。  
②国内研修に市長の意思をどのように取り入れているのか。  
③国内研修にかかる予算を増やすべきでは。

市長 ①先進自治体の取り組みや施策等について、視察を行うことで職員の資質向上および見識を広めることを目的とした国内研修を実施している。  
②施政方針に掲げる観光や農業振興などの重点事業のほか、新年度に取り組む施策など市が目

間との連携を加速する、都市公園を一層柔軟に使いこなすなどの観点を重視し、検討していきたいと考えている。  
②今後、必要となる公園条例の改正や周辺住民との調整など課題をよく整理し、協議会の立ち上げを含め、民間活力を導入した公園の活性化に向けて検討を進めていく。

議員 ①職員が他市の事例を調査し、現地に足を運び、視察を行うという研修はあるのか。  
②国内研修に市長の意思をどのように取り入れているのか。  
③国内研修にかかる予算を増やすべきでは。

### 農業振興策について問う

鴻井 伸二 議員(公明)

議員 ①生産緑地の農業振興については今後、どのように行っていくのか。  
②新規就農者の確保や市街化調整区域の移住定住の促進に向け、農地の所有権移動の30アール制

指す方向性を示した中で年度当初の組織目標ヒアリングや予算要求の概要説明など機会を捉えて、各種研修に取り組むよう指示しており、意思を十分取り入れているものと認識している。  
③職員が先進自治体を視察し、具体的な施策や事業等の情報に触れることは、極めて貴重な機会であり、違う目線で物事を捉え、本市にない発想を取り入れる契機となる。また、国内研修は、職員の資質向上とともに本市の政策課題の解決策を探り、市政の効率的な運営に反映させる点からも有効であると認識している。今後も多くのテーマについて国内研修が実施できるよう努めていく。

### 都支出金について問う

議員 ①都支出金の額は、どのように決定されているのか。  
②青梅市に割り当てられる都支出金の額が、都議会議員の活動

限の引き下げを検討しては。  
③福祉農園は、先進事例として実施されている内容をパッケージとして導入したほうが的確に取り組みると考えるがどうか。  
④青梅市でも生産されている東京狭山茶を来庁されたお客様へお出しするなどアピールしてはどうか。また、青梅在来大豆で作った豆腐も市のツイッターで紹介するなどしては。  
市長 ①平成22年、23年度に限り実施した生産緑地の追加指定を34年度以降は常時受け付けることで量的確保を図ってきた。また、生産緑地の農業振興については、福祉農園や都市型農園などの活用について研究を進める中で関係部署での情報共有や連携を図っていく。  
②先進地の事例等情報を収集し、メリット・デメリットについて検証、研究していく。  
③障がい者雇用の先進事例につ

によって変わることはあるのか。  
市長 ①交付される額は、多くの場合、法令やそれぞれの補助要綱などに規定された算式、単価、支出割合等から市における対象事業に要した経費を基本として算出され、決定されている。  
②青梅市選挙区選出の都議会議員が、都議会における一般質問等において青梅市の活性化や地域振興を意図し、青梅市の現状や課題などを取り上げ質問することは可能であると認識しているが、都議会議員の活動によって、個別の市町村に割り当てられる都支出金の額が増減することはないと考えている。

議員 ①道路の舗装や側溝等の破損、街路樹の剪定伐採、街路灯の設置、修復など市どこにいて早期に視察を行っていく。  
④東京狭山茶の庁内での活用を検討していく。青梅産大豆を使用した豆腐をはじめ地元産農作物を使用し製品化されたものは、機会を捉えてさまざまな媒体を活用し広くPRしていく。

議員 ①都支出金の額は、どのように決定されているのか。  
②青梅市に割り当てられる都支出金の額が、都議会議員の活動

限の引き下げを検討しては。  
③福祉農園は、先進事例として実施されている内容をパッケージとして導入したほうが的確に取り組みると考えるがどうか。  
④青梅市でも生産されている東京狭山茶を来庁されたお客様へお出しするなどアピールしてはどうか。また、青梅在来大豆で作った豆腐も市のツイッターで紹介するなどしては。  
市長 ①平成22年、23年度に限り実施した生産緑地の追加指定を34年度以降は常時受け付けることで量的確保を図ってきた。また、生産緑地の農業振興については、福祉農園や都市型農園などの活用について研究を進める中で関係部署での情報共有や連携を図っていく。  
②先進地の事例等情報を収集し、メリット・デメリットについて検証、研究していく。  
③障がい者雇用の先進事例につ

によって変わることはあるのか。  
市長 ①交付される額は、多くの場合、法令やそれぞれの補助要綱などに規定された算式、単価、支出割合等から市における対象事業に要した経費を基本として算出され、決定されている。  
②青梅市選挙区選出の都議会議員が、都議会における一般質問等において青梅市の活性化や地域振興を意図し、青梅市の現状や課題などを取り上げ質問することは可能であると認識しているが、都議会議員の活動によって、個別の市町村に割り当てられる都支出金の額が増減することはないと考えている。

議員 ①都支出金の額は、どのように決定されているのか。  
②青梅市に割り当てられる都支出金の額が、都議会議員の活動

限の引き下げを検討しては。  
③福祉農園は、先進事例として実施されている内容をパッケージとして導入したほうが的確に取り組みると考えるがどうか。  
④青梅市でも生産されている東京狭山茶を来庁されたお客様へお出しするなどアピールしてはどうか。また、青梅在来大豆で作った豆腐も市のツイッターで紹介するなどしては。  
市長 ①平成22年、23年度に限り実施した生産緑地の追加指定を34年度以降は常時受け付けることで量的確保を図ってきた。また、生産緑地の農業振興については、福祉農園や都市型農園などの活用について研究を進める中で関係部署での情報共有や連携を図っていく。  
②先進地の事例等情報を収集し、メリット・デメリットについて検証、研究していく。  
③障がい者雇用の先進事例につ

によって変わることはあるのか。  
市長 ①交付される額は、多くの場合、法令やそれぞれの補助要綱などに規定された算式、単価、支出割合等から市における対象事業に要した経費を基本として算出され、決定されている。  
②青梅市選挙区選出の都議会議員が、都議会における一般質問等において青梅市の活性化や地域振興を意図し、青梅市の現状や課題などを取り上げ質問することは可能であると認識しているが、都議会議員の活動によって、個別の市町村に割り当てられる都支出金の額が増減することはないと考えている。

議員 ①都支出金の額は、どのように決定されているのか。  
②青梅市に割り当てられる都支出金の額が、都議会議員の活動

### 道路・側溝・街路灯・街路樹等の維持管理について問う

議員 ①道路の舗装や側溝等の破損、街路樹の剪定伐採、街路灯の設置、修復など市どこにいて早期に視察を行っていく。  
④東京狭山茶の庁内での活用を検討していく。青梅産大豆を使用した豆腐をはじめ地元産農作物を使用し製品化されたものは、機会を捉えてさまざまな媒体を活用し広くPRしていく。

議員 ①都支出金の額は、どのように決定されているのか。  
②青梅市に割り当てられる都支出金の額が、都議会議員の活動

限の引き下げを検討しては。  
③福祉農園は、先進事例として実施されている内容をパッケージとして導入したほうが的確に取り組みると考えるがどうか。  
④青梅市でも生産されている東京狭山茶を来庁されたお客様へお出しするなどアピールしてはどうか。また、青梅在来大豆で作った豆腐も市のツイッターで紹介するなどしては。  
市長 ①平成22年、23年度に限り実施した生産緑地の追加指定を34年度以降は常時受け付けることで量的確保を図ってきた。また、生産緑地の農業振興については、福祉農園や都市型農園などの活用について研究を進める中で関係部署での情報共有や連携を図っていく。  
②先進地の事例等情報を収集し、メリット・デメリットについて検証、研究していく。  
③障がい者雇用の先進事例につ

によって変わることはあるのか。  
市長 ①交付される額は、多くの場合、法令やそれぞれの補助要綱などに規定された算式、単価、支出割合等から市における対象事業に要した経費を基本として算出され、決定されている。  
②青梅市選挙区選出の都議会議員が、都議会における一般質問等において青梅市の活性化や地域振興を意図し、青梅市の現状や課題などを取り上げ質問することは可能であると認識しているが、都議会議員の活動によって、個別の市町村に割り当てられる都支出金の額が増減することはないと考えている。

議員 ①都支出金の額は、どのように決定されているのか。  
②青梅市に割り当てられる都支出金の額が、都議会議員の活動

限の引き下げを検討しては。  
③福祉農園は、先進事例として実施されている内容をパッケージとして導入したほうが的確に取り組みると考えるがどうか。  
④青梅市でも生産されている東京狭山茶を来庁されたお客様へお出しするなどアピールしてはどうか。また、青梅在来大豆で作った豆腐も市のツイッターで紹介するなどしては。  
市長 ①平成22年、23年度に限り実施した生産緑地の追加指定を34年度以降は常時受け付けることで量的確保を図ってきた。また、生産緑地の農業振興については、福祉農園や都市型農園などの活用について研究を進める中で関係部署での情報共有や連携を図っていく。  
②先進地の事例等情報を収集し、メリット・デメリットについて検証、研究していく。  
③障がい者雇用の先進事例につ

によって変わることはあるのか。  
市長 ①交付される額は、多くの場合、法令やそれぞれの補助要綱などに規定された算式、単価、支出割合等から市における対象事業に要した経費を基本として算出され、決定されている。  
②青梅市選挙区選出の都議会議員が、都議会における一般質問等において青梅市の活性化や地域振興を意図し、青梅市の現状や課題などを取り上げ質問することは可能であると認識しているが、都議会議員の活動によって、個別の市町村に割り当てられる都支出金の額が増減することはないと考えている。

議員 ①都支出金の額は、どのように決定されているのか。  
②青梅市に割り当てられる都支出金の額が、都議会議員の活動

限の引き下げを検討しては。  
③福祉農園は、先進事例として実施されている内容をパッケージとして導入したほうが的確に取り組みると考えるがどうか。  
④青梅市でも生産されている東京狭山茶を来庁されたお客様へお出しするなどアピールしてはどうか。また、青梅在来大豆で作った豆腐も市のツイッターで紹介するなどしては。  
市長 ①平成22年、23年度に限り実施した生産緑地の追加指定を34年度以降は常時受け付けることで量的確保を図ってきた。また、生産緑地の農業振興については、福祉農園や都市型農園などの活用について研究を進める中で関係部署での情報共有や連携を図っていく。  
②先進地の事例等情報を収集し、メリット・デメリットについて検証、研究していく。  
③障がい者雇用の先進事例につ

によって変わることはあるのか。  
市長 ①交付される額は、多くの場合、法令やそれぞれの補助要綱などに規定された算式、単価、支出割合等から市における対象事業に要した経費を基本として算出され、決定されている。  
②青梅市選挙区選出の都議会議員が、都議会における一般質問等において青梅市の活性化や地域振興を意図し、青梅市の現状や課題などを取り上げ質問することは可能であると認識しているが、都議会議員の活動によって、個別の市町村に割り当てられる都支出金の額が増減することはないと考えている。

議員 ①都支出金の額は、どのように決定されているのか。  
②青梅市に割り当てられる都支出金の額が、都議会議員の活動



### ゴミ屋敷の問題に対する支援について問う

議員 ①市内のゴミ屋敷に対して行っている支援策を伺う。  
②今後、ゴミ屋敷への支援策は、組織化していくべきでは。  
市長 ①市民等から相談等を受けた際は、現地を確認した上で基本的に居住者等に対し、ごみの出し方や悪臭、害虫の発生防止等について指導を行うとともに、必要に応じて害虫の駆除業者をお知らせするなどの情報提供も行っている。  
②ごみ屋敷の対応には、ごみ処理のほかに火災予防や居住者の心身のケアなど多くの課題があり、解決していくためには、関係課が連携した体制づくりが必要と考えている。

議員 ①市内のゴミ屋敷に対して行っている支援策を伺う。  
②今後、ゴミ屋敷への支援策は、組織化していくべきでは。  
市長 ①市民等から相談等を受けた際は、現地を確認した上で基本的に居住者等に対し、ごみの出し方や悪臭、害虫の発生防止等について指導を行うとともに、必要に応じて害虫の駆除業者をお知らせするなどの情報提供も行っている。  
②ごみ屋敷の対応には、ごみ処理のほかに火災予防や居住者の心身のケアなど多くの課題があり、解決していくためには、関係課が連携した体制づくりが必要と考えている。

議員 ①市内のゴミ屋敷に対して行っている支援策を伺う。  
②今後、ゴミ屋敷への支援策は、組織化していくべきでは。  
市長 ①市民等から相談等を受けた際は、現地を確認した上で基本的に居住者等に対し、ごみの出し方や悪臭、害虫の発生防止等について指導を行うとともに、必要に応じて害虫の駆除業者をお知らせするなどの情報提供も行っている。  
②ごみ屋敷の対応には、ごみ処理のほかに火災予防や居住者の心身のケアなど多くの課題があり、解決していくためには、関係課が連携した体制づくりが必要と考えている。

議員 ①市内のゴミ屋敷に対して行っている支援策を伺う。  
②今後、ゴミ屋敷への支援策は、組織化していくべきでは。  
市長 ①市民等から相談等を受けた際は、現地を確認した上で基本的に居住者等に対し、ごみの出し方や悪臭、害虫の発生防止等について指導を行うとともに、必要に応じて害虫の駆除業者をお知らせするなどの情報提供も行っている。  
②ごみ屋敷の対応には、ごみ処理のほかに火災予防や居住者の心身のケアなど多くの課題があり、解決していくためには、関係課が連携した体制づくりが必要と考えている。

議員 ①市内のゴミ屋敷に対して行っている支援策を伺う。  
②今後、ゴミ屋敷への支援策は、組織化していくべきでは。  
市長 ①市民等から相談等を受けた際は、現地を確認した上で基本的に居住者等に対し、ごみの出し方や悪臭、害虫の発生防止等について指導を行うとともに、必要に応じて害虫の駆除業者をお知らせするなどの情報提供も行っている。  
②ごみ屋敷の対応には、ごみ処理のほかに火災予防や居住者の心身のケアなど多くの課題があり、解決していくためには、関係課が連携した体制づくりが必要と考えている。

議員 ①市内のゴミ屋敷に対して行っている支援策を伺う。  
②今後、ゴミ屋敷への支援策は、組織化していくべきでは。  
市長 ①市民等から相談等を受けた際は、現地を確認した上で基本的に居住者等に対し、ごみの出し方や悪臭、害虫の発生防止等について指導を行うとともに、必要に応じて害虫の駆除業者をお知らせするなどの情報提供も行っている。  
②ごみ屋敷の対応には、ごみ処理のほかに火災予防や居住者の心身のケアなど多くの課題があり、解決していくためには、関係課が連携した体制づくりが必要と考えている。

議員 ①市内のゴミ屋敷に対して行っている支援策を伺う。  
②今後、ゴミ屋敷への支援策は、組織化していくべきでは。  
市長 ①市民等から相談等を受けた際は、現地を確認した上で基本的に居住者等に対し、ごみの出し方や悪臭、害虫の発生防止等について指導を行うとともに、必要に応じて害虫の駆除業者をお知らせするなどの情報提供も行っている。  
②ごみ屋敷の対応には、ごみ処理のほかに火災予防や居住者の心身のケアなど多くの課題があり、解決していくためには、関係課が連携した体制づくりが必要と考えている。

議員 ①市内のゴミ屋敷に対して行っている支援策を伺う。  
②今後、ゴミ屋敷への支援策は、組織化していくべきでは。  
市長 ①市民等から相談等を受けた際は、現地を確認した上で基本的に居住者等に対し、ごみの出し方や悪臭、害虫の発生防止等について指導を行うとともに、必要に応じて害虫の駆除業者をお知らせするなどの情報提供も行っている。  
②ごみ屋敷の対応には、ごみ処理のほかに火災予防や居住者の心身のケアなど多くの課題があり、解決していくためには、関係課が連携した体制づくりが必要と考えている。



審議された議案と議決結果

賛否が分かれた議案

[○…賛成、×…反対]

Table with columns for district, proposal number, name, decision result, and individual council members' votes (賛成/反対).

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属9人、自民党2人)、公明…公明党(5人)、改フ…改革フォーラム(無所属3人、民進党1人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、みどり…みどりのオンプズマン(1人) ※氏名の上の番号は、議席番号です。 ※議長は表決には加わりません。

全会一致で認定または可決された議案

Table listing proposals that were unanimously approved or decided by the assembly.

青梅市議会では、ホームページで定例議会等の概要をお知らせするとともに、市議会議員の紹介や議長交際費の支出状況、政務活動費の収支報告書等を公開するなど、情報発信に努めています。本会議の様子は、インターネットで生中継および録画中継により配信しており（録画映像は本会議終了後おおむね1週間）で公開）、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。また、本会議録および委員会録についても会議録検索システムで閲覧することができます。ぜひ、ご覧ください。

記 1 地方の意見を十分に踏まえて制度設計するとともに、各県を中心に独自に課税している森林環境税との調整を図ること。また、税の徴収については、低所得者の負担増につながらないよう十分に配慮すること。 2 実現までの間において

陳情結果の 審議結果の スケートボード練習場（アクションスポーツ場）の設置を求める陳情 \*審議結果：趣旨採択

意見書 議員提出による意見書案が9月29日の本会議で可決され、同日付で内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣および環境大臣に送付されました。 なお、意見書の概要は次のとおりです。 森林環境税（仮称）の早期創設および林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書

も、必要な施策を推進するための予算を十分に確保すること。 3 林業の成長産業化と森林の公益的機能発揮の両立を図る新たな森林の管理・経営スキームを検討すること。 4 新たな森林の管理・経営スキームの検討を進めるに当たっては、国産材の需要創出・拡大策を並行して推進していくこと。 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。 平成29年9月29日 東京都青梅市議会 ※意見書の全文はホームページでご覧になれます。

市長提出事項 姉妹都市ポツバルト市の青少年友好親善使節団の受入れについて 市民と市長との懇談会について 市長の海外出張について 青梅オクトーバーフェストの開催について 西多摩地域広域行政圏協議会によるホストタウン申請について 平成30年度組織改正について 運動広場のあり方について 平成29年度感染状況調査結果および平成30年度強化対策地区拡大申請予定について 地域医療支援病院承認後の選定療養費徴収開始について ポートレイス多摩川外河発所開設について

全員協議会から 9月12日に開催された全員協議会の提出事項は次のとおりです。 市長提出事項

特別委員会から 7月から9月に行われた特別委員会での主な検討事項等をお知らせします。 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会

総合病院建替特別委員会 第2回委員会(8月10日) 青梅市立総合病院の建てかえについては、前年度までの経過等を、報告事項については、現状と今後の予定を、行政側から説明を受けた後、質疑を行った。 第3回委員会(9月14日) 報告事項として、新病院の基本設計にかかる公表時期については、行政側から説明を受けた後、質疑を行った。その後、先進自治体への視察について検討した。

■平成29年市議会定例会12月定例議会会議予定
Table with columns: 月日(曜日), 時間, 会議, 備考
12月1日(金) 午前10時 本会議 議案審議、一般質問等
12月4日(月) 午前10時 本会議 一般質問
12月5日(火) 午前10時 本会議 一般質問
12月7日(木) 常任委員会
12月8日(金) 常任委員会
12月11日(月) 午前10時 予算決算委員会
予算決算委員会終了後 全員協議会
12月15日(金) 午前10時 本会議 委員会審査報告等

特別委員会から 7月から9月に行われた特別委員会での主な検討事項等をお知らせします。 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会 第2回委員会(7月10日) 第3回委員会(8月28日) 東青梅1丁目地内諸事業用地等の利活用等の検討状況についてと青梅駅前地区市街地再開発事業について、行政側から説明を受けた後、質疑を行った。 第4回委員会(9月29日) 東青梅1丁目地内諸事業用地等の利活用等の検討状況について、行政側から説明を受けた後、質疑を行った。